



小松マテール株式会社 IRミーティング

2024年11月19日(火)
兜町平和ビル2階 第2セミナールーム

Art in Technology
komatsumateRe



もくじ

- I. 会社概要
- II. 2025年3月期 中間決算概要
- III. 2025年3月期 業績見通し
- IV. 中期経営計画達成へ向けての取組み



I . 会社概要

業 種：繊維の染色加工技術を基盤とした素材製造業

本 社：石川県能美市浜町又167番地

営業所：東京、大阪

(ショールームは東京 南青山及びミラノ)

工 場：本社、美川

設 立：1943年10月8日

株 式：東証プライム市場

資本金：46億8千4百万円 (外国株主17.2%)

有利子負債 0円、利益剰余金 299億円

売上高：2023年度 366億70百万円

(注) ・連結子会社 国内4社、海外1社
・持分法関連企業 2社



社員数：1,117名 (連結)

生産規模：約 2億m²/年

シェア：国内シェア14%
織物では33%

2023年度 売上高 366億円

製品部門



製品部門
13億(3.8%)

その他
5億(1.4%)

資材ファブリック部門
82億(22.6%)

衣料ファブリック部門
264億 (72.2%)



衣料ファブリック

資材ファブリック



小松マテールが企業活動を遂行するにあたって最も基本的な姿勢を示した
価値観であり、全ての活動の指針とするものです。

ここに掲げた三つの理念をもとに、私たちは“驚き”と“感動”があふれる
素材を創造し続ける「化学素材メーカー」を目指します。

小松マテールは
人々の感動を創造します

高度な技術と豊かな感性の融合により
驚きと感動を与える価値ある商品を
創造しよう

※本経営理念は1993年に50周年
を迎えた際に見直された

小松マテールは
地球・社会に貢献します

企業活動を通じて
地球環境の保護保全に努め
全世界の人々が
健康で快適な社会づくりに貢献しよう

小松マテールは
社員と共に成長します

社員がプロとして自らを高め進化することで
企業の成長を図ろう

“環境”は1990年代から
当社の優先課題に位置づけ



Ⅱ . 2025年3月期中間決算概要

Ⅱ - 1 . 中間決算概要 「2025年3月期中間決算 財務ハイライト」



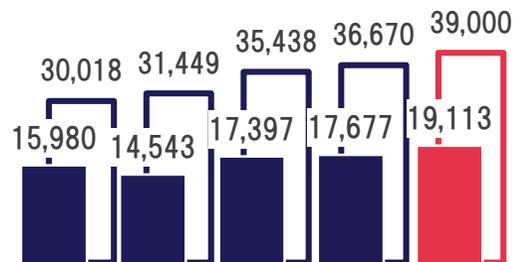
売上高

(単位:百万円)

19,113

百万円

前期比
+8.1%



第109期 第110期 第111期 第112期 第113期

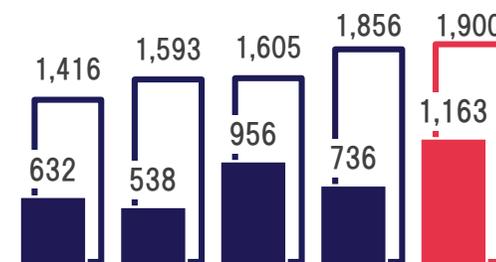
営業利益

(単位:百万円)

1,163

百万円

前期比
+57.9%



第109期 第110期 第111期 第112期 第113期

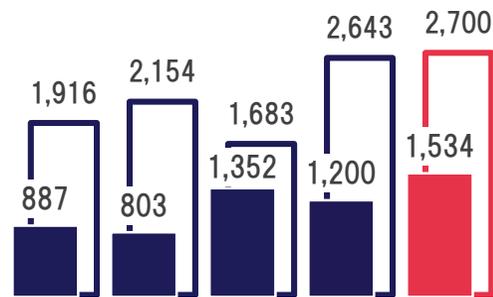
経常利益

(単位:百万円)

1,534

百万円

前期比
+27.7%



第109期 第110期 第111期 第112期 第113期

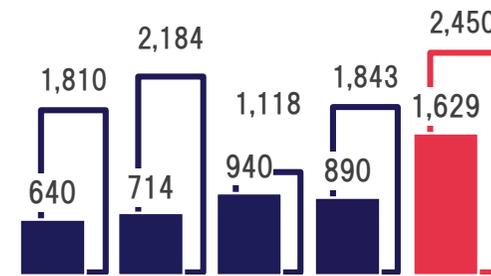
親会社株主に帰属する中間純利益

(単位:百万円)

1,629

百万円

前期比
+83.0%



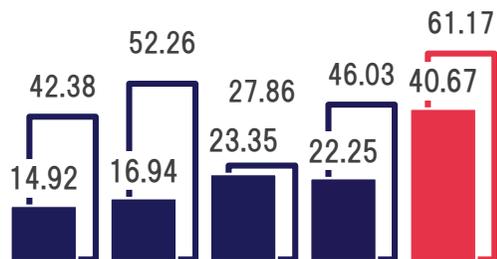
第109期 第110期 第111期 第112期 第113期

1株当たりの中間純利益

(単位:円)

40.67円

前期比
+18.42円



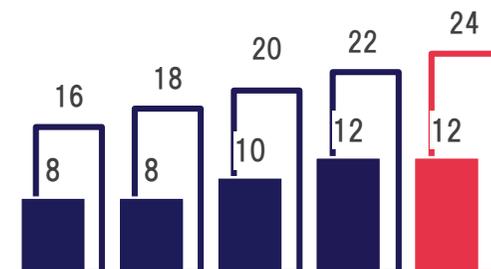
第109期 第110期 第111期 第112期 第113期

1株当たりの中間配当金

(単位:円)

12円

前期比
±0.0円



第109期 第110期 第111期 第112期 第113期

※白抜きは通期実績。113期通期については見通し値。

Ⅱ - 2 . 中間決算概要 「各セグメント別売上高と営業利益」

(単位：百万円)

セグメント	売上高				営業利益			
	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	増減		2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	増減	
			金額	率 (%)			金額	率 (%)
繊維事業計	17,425	18,853	1,428	8.2	690	1,127	437	63.3
衣料ファブリック	12,577	14,003	1,425	11.3	698	1,073	375	53.7
資材ファブリック	4,085	4,030	△55	△1.3				
製品部門	763	820	57	7.5				
その他の事業	252	261	9	3.6	47	36	△11	△23.4
合計	17,677	19,113	1,437	8.1	736	1,163	426	57.9

<コメント>

●衣料ファブリック

欧州ラグジュアリーブランドを含むファッション、中東民族衣装が増加。特に北米、国内のファッションが好調。

●資材ファブリック

車輦分野や生活関連資材分野で受注が増加したものの、事業戦略上の撤退もあり全体としては減収。

●製品部門

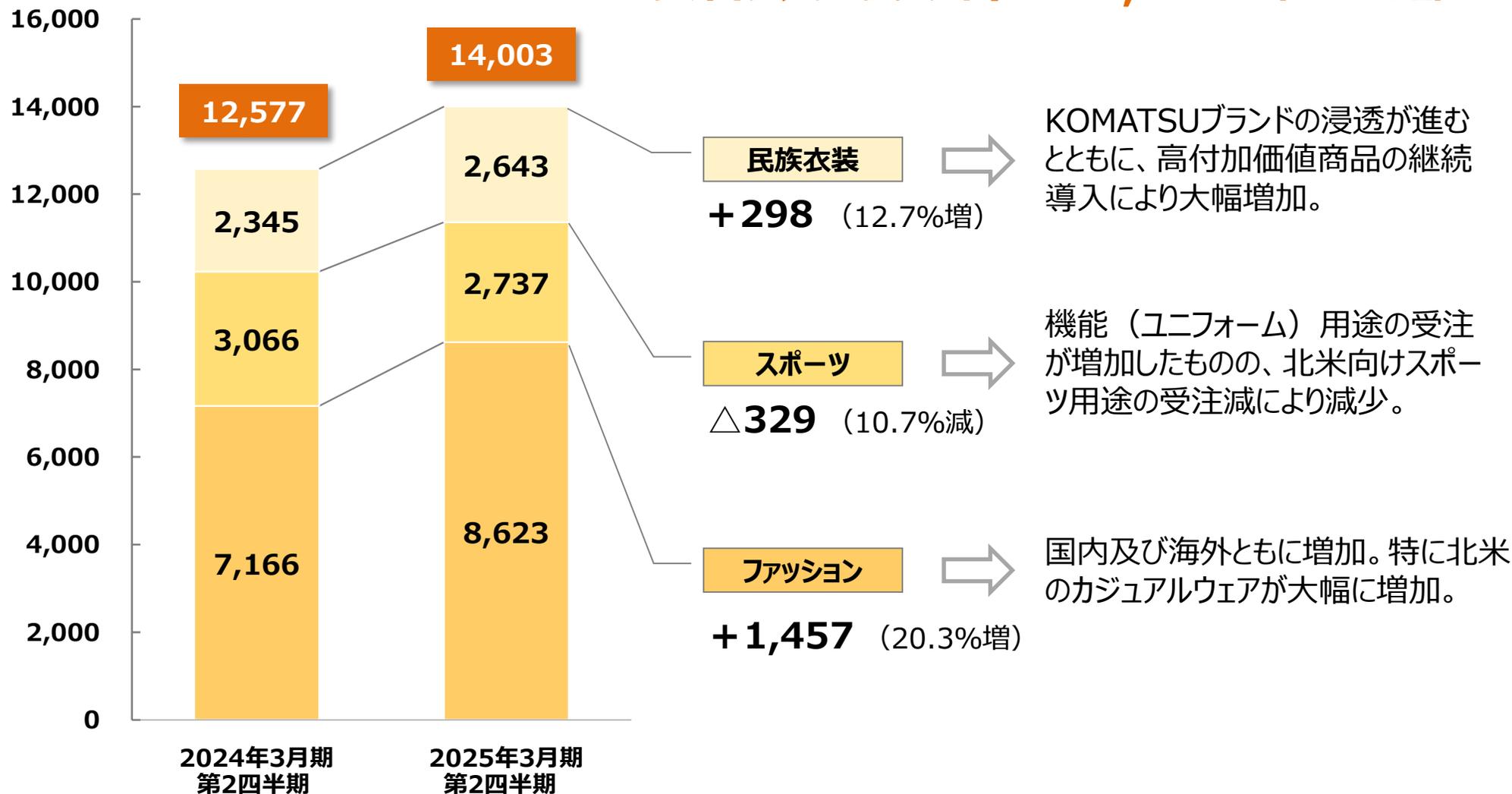
販売体制を強化し、自社製品ブランドの市場への浸透を図ったことにより増加。

●その他事業

物流事業における外部需要の取り込みにより堅調に推移。

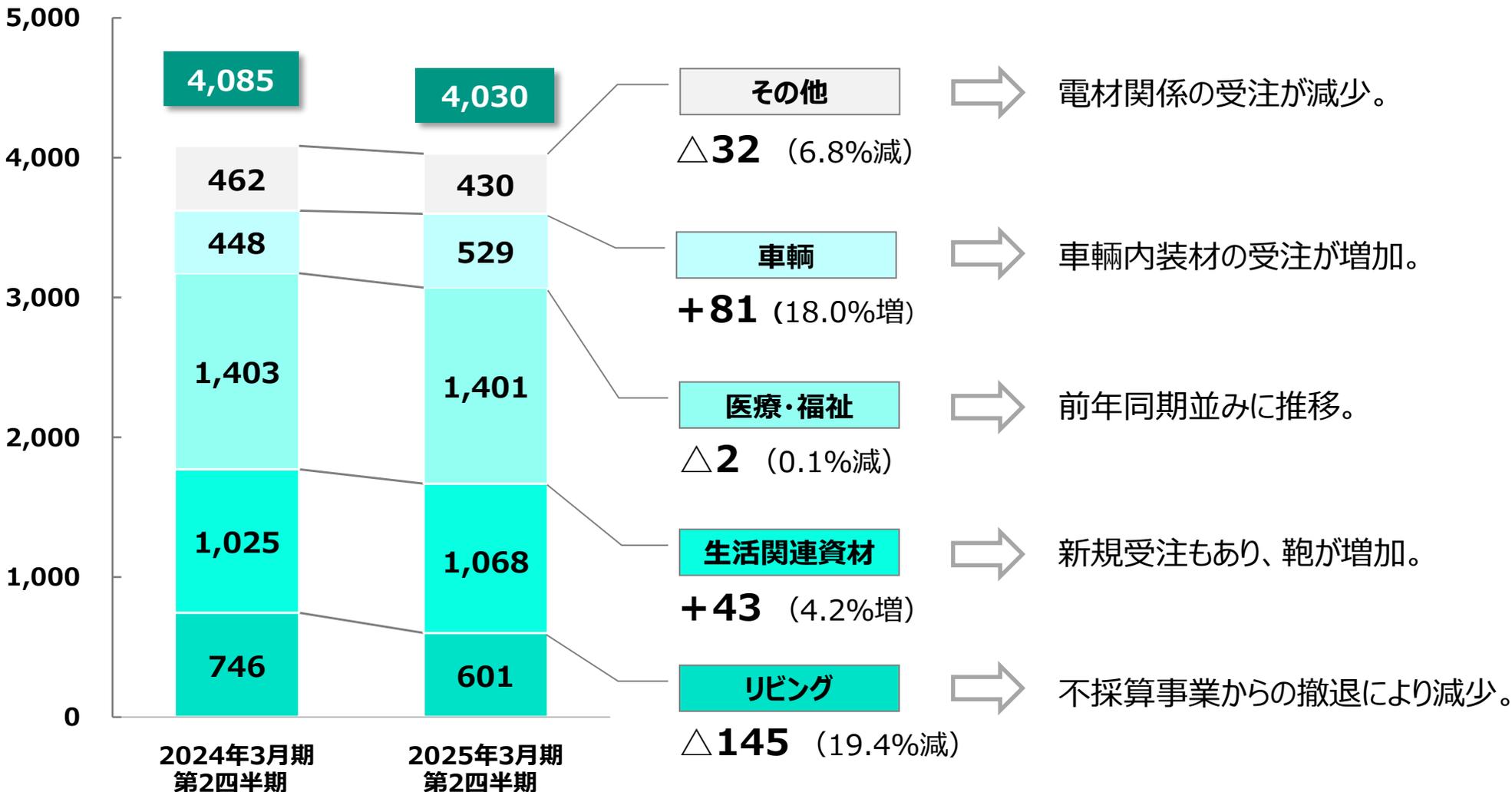
衣料ファブリック計 +1,425 (11.3%増)

売上高 (百万円)



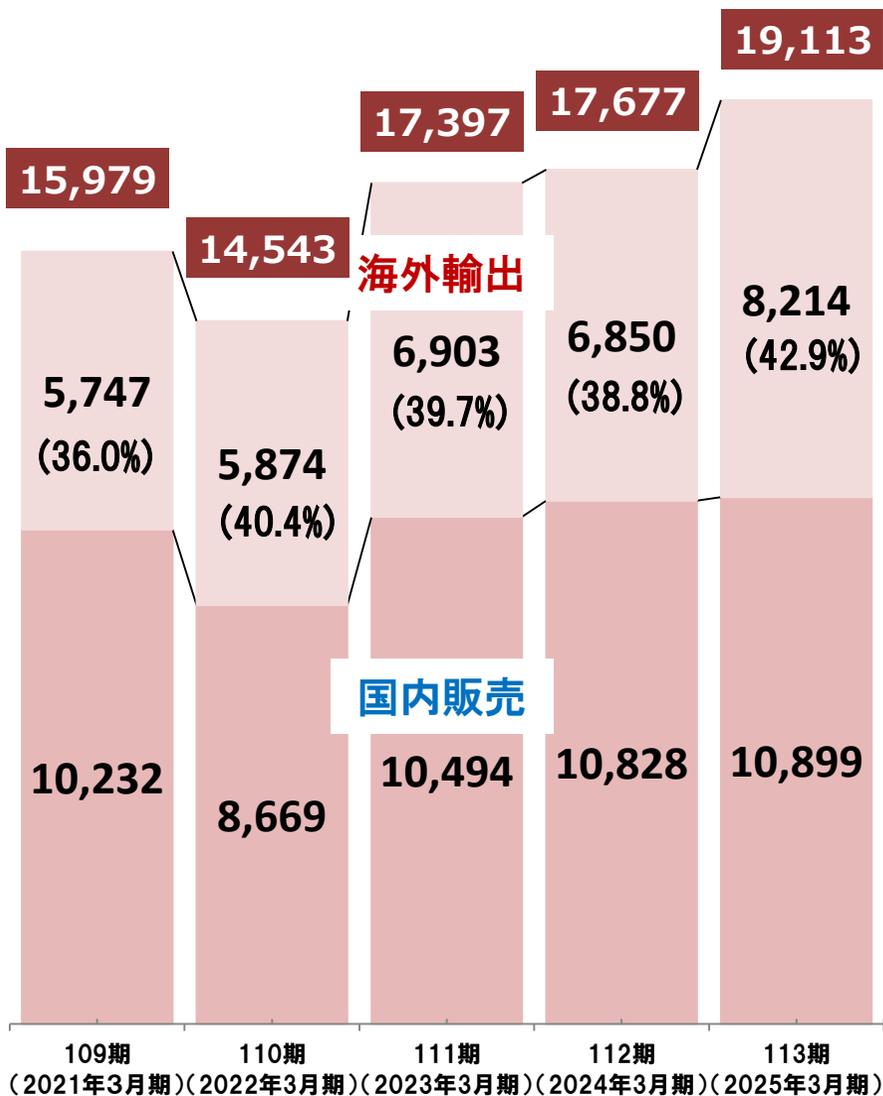
資材ファブリック計 $\Delta 55$ (1.3%減)

売上高 (百万円)

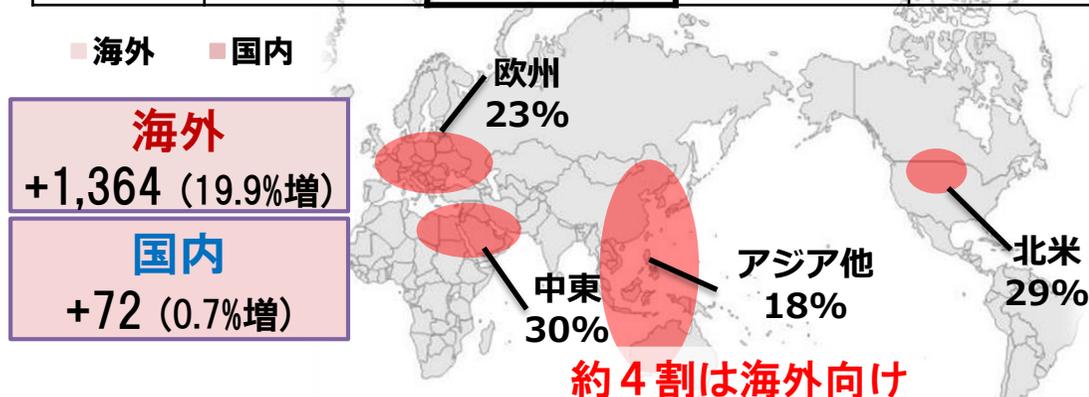


Ⅱ - 5 . 中間決算概要 「市場別売上高（国内・海外）」

(単位：百万円)

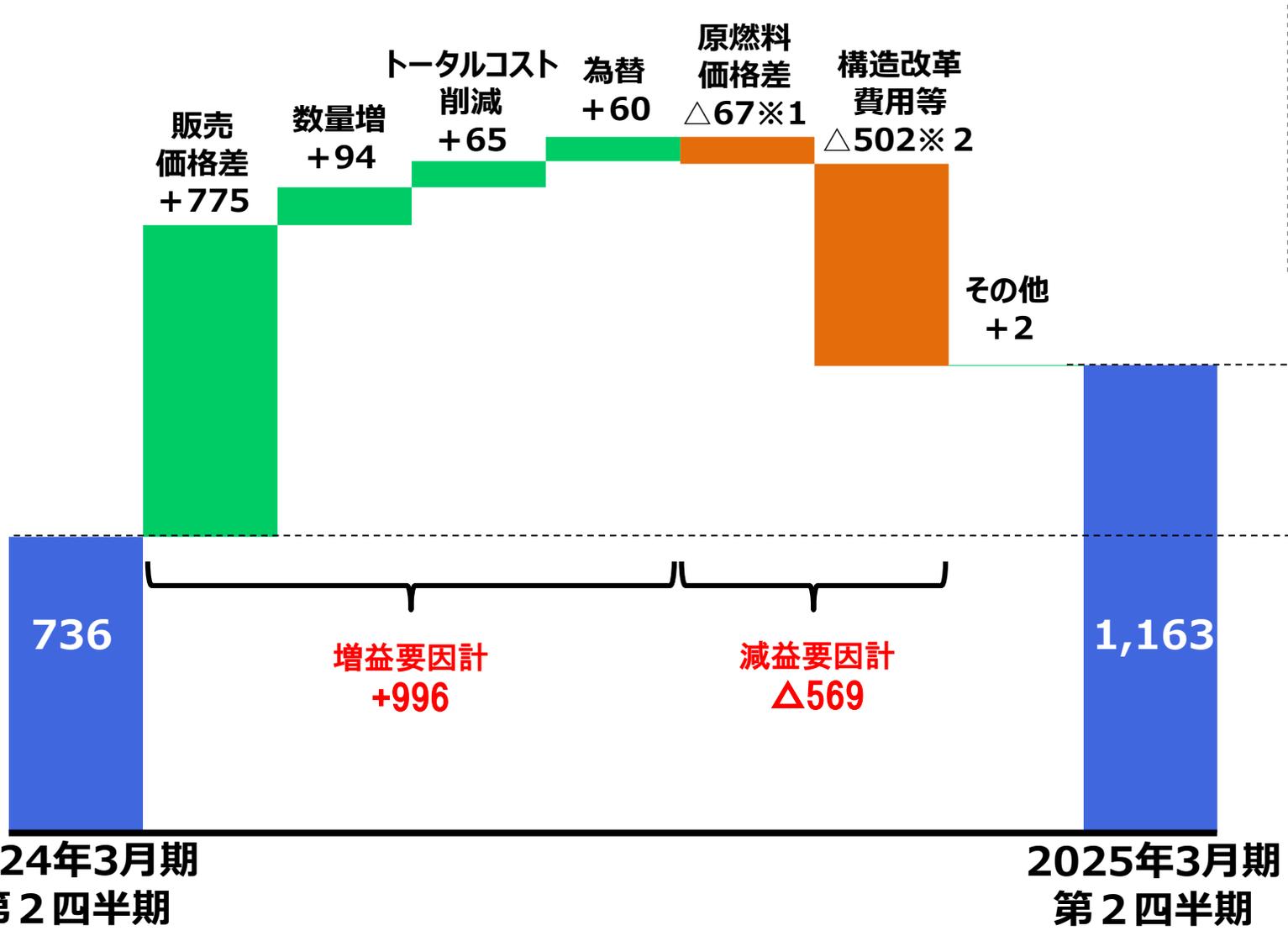


	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減額	増減率 (%)
欧州	1,983	1,864	△119	△6.0
北米	1,570	2,414	844	53.8
アジア他	1,051	1,443	393	37.4
中東	2,246	2,492	246	11.0



- 海外市場
 - <欧州> ラグジュアリーブランド含むファッションは堅調に推移したものの、スポーツが減少。
 - <北米> カナダ向けのファッションが大幅に増加。
 - <アジア他> 中国、オーストラリア向けファッションが増加。
 - <中東> KOMATSUブランドの浸透が進むとともに、高付加価値商品の継続導入により民族衣装が大幅増加。
- 国内市場
 - 資材ファブリックが減少したものの、ファッション、ユニフォームでカバーし前年同期並みに推移。

II-6. 中間決算概要 「営業利益増減分析」



※1 原燃料のほか電力および梱包費、運送費などを含んでおります。
 ※2 製造環境の整備、福利厚生面の充実のための費用を含んでおります。

2024年3月期
第2四半期

2025年3月期
第2四半期

【当社配当基本方針】

- ◆ 株主に対する利益還元を重要課題のひとつとし、安定的な配当を継続的に行います。
- ◆ 配当性向は当期純利益の**40%以上**を目安としております。

● 今期中間配当は、

1株当たり**12円**といたします。

※ 中間配当金の総額：483,228,600円

※ 剰余金の配当が効力を生ずる日：

2024年11月29日(金)

● 期末配当金額予想は、

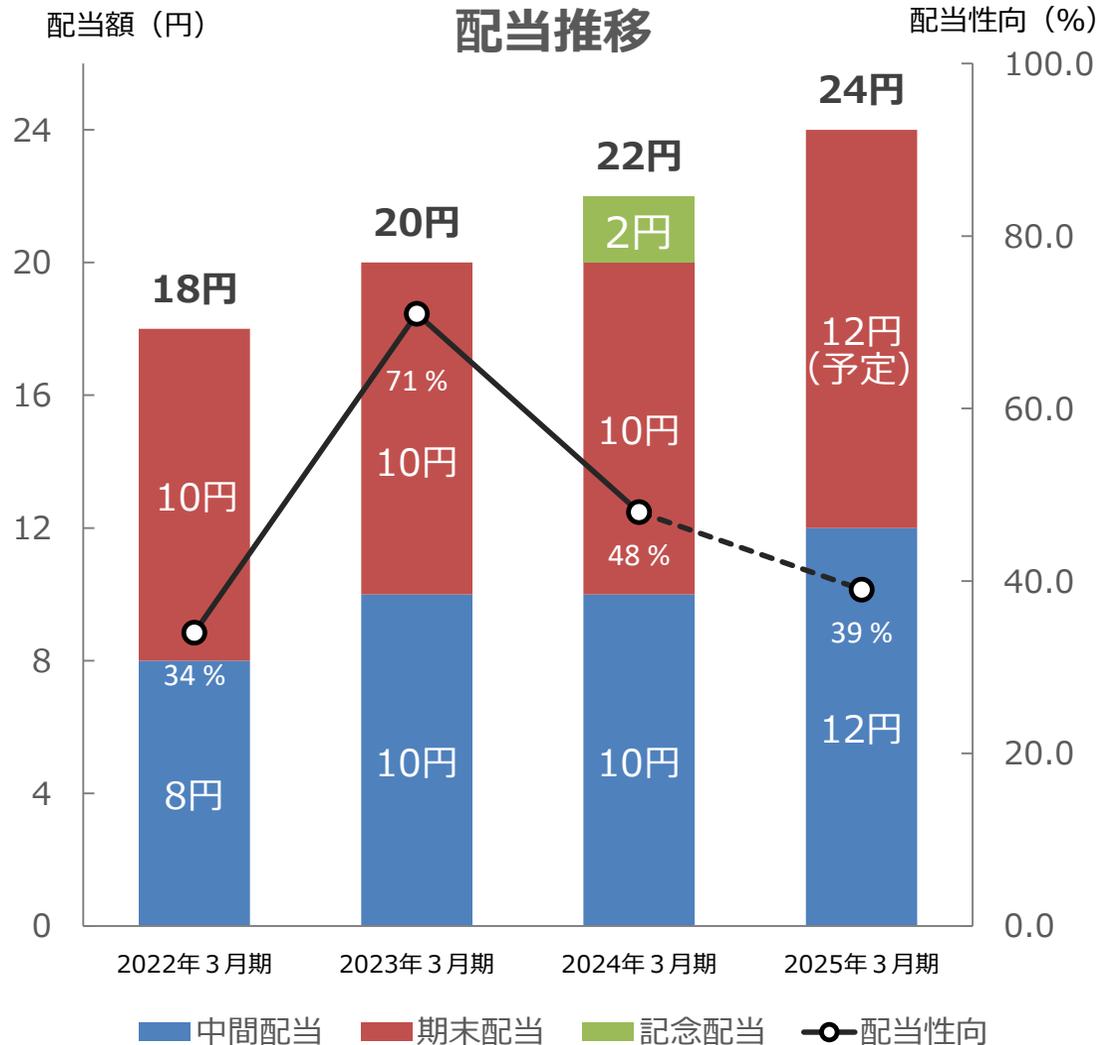
当初予想どおりの1株当たり12円としています。

年間配当額は前期比2円増配の1株当たり

24円を予定しております。

※ 通期の配当性向は39.2%の予測となります。

なお、期末配当につきましては、今後の業績及び配当性向目安等を勘案した上で実施いたします。





Ⅲ. 2025年3月期 通期業績見通し

Ⅲ-1. 「2025年3月期 通期業績見通し」

(単位：百万円)

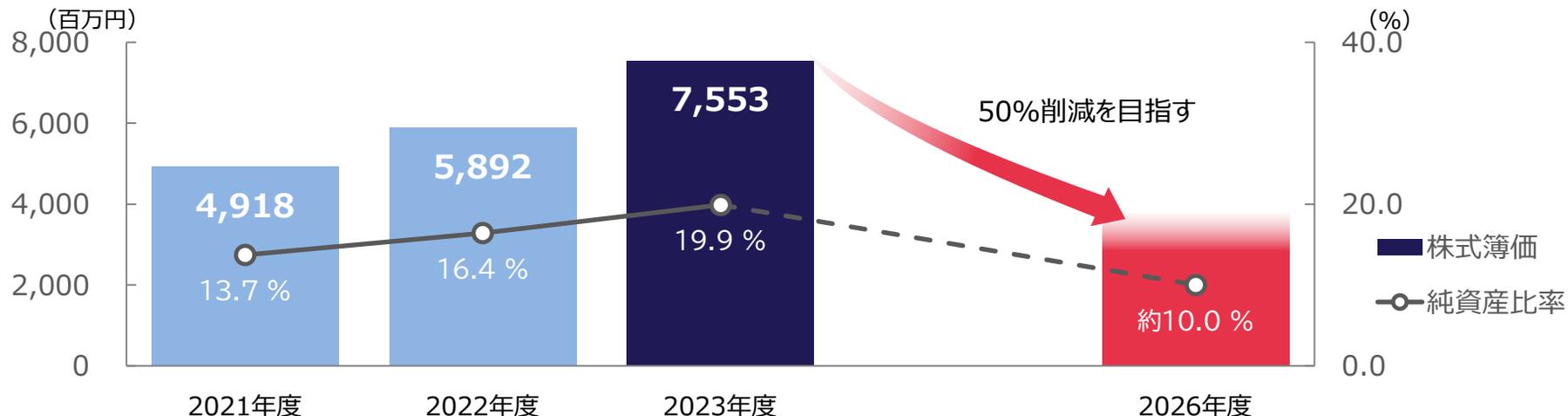
項目	2024年3月期 通期実績	2025年3月期 通期予想	増減（通期比較）	
			金額	増減率（%）
売上高	36,670	39,000	2,329	6.4
営業利益	1,856	1,900	43	2.4
経常利益	2,643	2,700	56	2.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,843	2,450	606	32.9

一株当たり当期純利益	46.03円	61.17円
------------	--------	--------

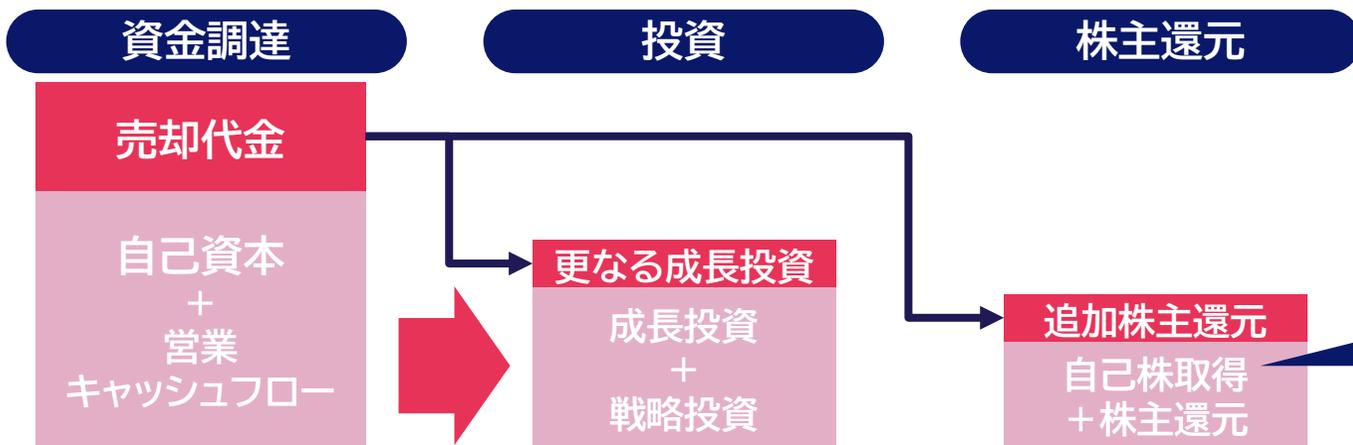
期中平均 為替レート	USD	144.59円	140.00円
	EUR	156.75円	152.60円

Ⅲ-2. 通期業績見通し「政策保有株式の削減について」

当社は企業価値向上と資本効率向上に向けて、更なる成長投資及び持続的な自己株式取得等の株主還元を実現するため、中期経営計画「KFW-2026」期間の3年間で政策保有株式の50%(約40億円)削減を目指します。



政策保有株式削減による売却代金は更なる成長投資と株主還元を活用



自己株式の取得について

- 取得株式数：130万株 (上限)
- 取得総額：10億円 (上限)
- 取得期間：2024年11月1日～2025年10月31日



IV. 中期経営計画達成へ向けての取組み

IV. 中期経営計画達成へ向けての取組み

KFW-2026

スローガン

Art in Technology

技術と感性で人々と社会をより豊かに

事業領域

1

海外事業の拡大
ファッション衣料と非衣料分野

2

小松マテーレ式
サステナブル
商材・事業の推進

3

製品事業の推進

基盤強化

4

人材育成の強化と
エンゲージメントの向上

5

製造環境の整備、
福利厚生面の充実

IV- 1 . 中期経営計画「海外事業の拡大」

本中間期に当社は海外事業の拡大を図るため、また、販売促進活動の一環といたしまして多くの展示会に参加し、また、自社の展示会を開催し、海外市場へ訴求してまいりました。

ミラノ・ウニカ展（イタリア）

環境配慮の観点から売れ残り在庫削減につながる「製品染め」のアイテムを中心に、展示いたしました。



自社個展（フランス）



PERFORMANCE DAYS展（ドイツ）

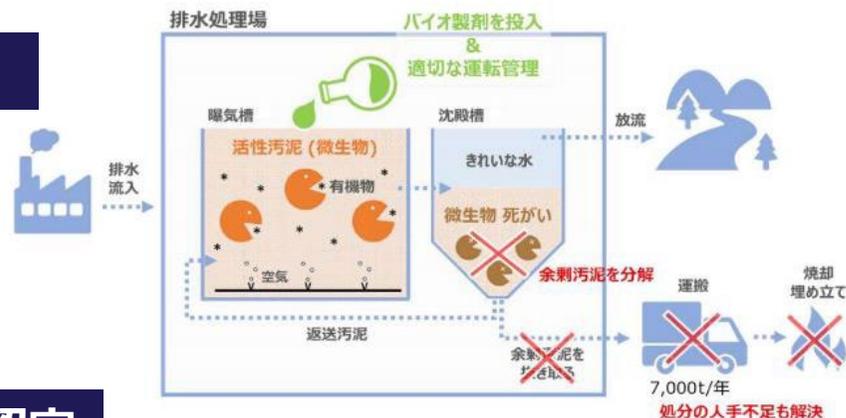


今後の展開として、来年のイタリア・ミラノウニカ展では日本企業として初の単独で出展を予定しております。海外事業の拡大に向けて邁進してまいります。

IV-2. 中期経営計画「サステナブル商材・事業の推進」

○ ベリフォーマー「いしかわエコデザイン賞大賞」受賞

「いしかわエコデザイン賞」は持続可能な社会の実現に向けて生み出された、石川発の優れた製品やサービスなどに与えられる賞です。この度、当社の排水処理場の汚泥減容剤「ベリフォーマー」が、ごみ(余剰汚泥)の発生を無くした点が高く評価され、大賞を受賞いたしました。



○ グリーンビズ・グラウンド瓦「エコリサイクル製品」認定



当社は、自社で発生する廃棄物の有効活用し、保水性・吸水性がある環境貢献製品「グリーンビズ」を開発し、主に路面のブロック材として採用されております。

今年の能登半島地震で発生した膨大な廃瓦を有効な資源とし、「グリーンビズ」と組み合わせた「グリーンビズ・グラウンド瓦」は、機能性や安全性を有した廃瓦のリサイクル製品として、「石川県エコリサイクル製品」に認定されました。

本製品を活用することで被災地の復興に役立ちたいと考えております。

○ 展示会への出展

当社のサステナビリティ商材・事業のさらなる拡販のために、様々な展示会に出展し、当社技術の周知、新規顧客の獲得を目指しております。



サステナブルマテリアル展



東大展

IV-3. 中期経営計画「製品・半製品ビジネスの推進」

当社は製品・半製品ビジネスの推進に向けて「製品染め」によるビジネスを拡大してまいります。
その1つとして、当社の製品染加工素材“ガメダイ®”が、ユニクロが循環型社会を目指し取り組む「RE.UNIQLO (リ・ユニクロ)」の「UNIQLO古着プロジェクト」に採用されました。

「UNIQLO古着プロジェクト」

お客様から回収したユニクロの服を厳選し、新しい価値を加えて販売するプロジェクトです。主に、染め直した「オーバードイ」商品と、プロが丁寧に洗濯した「ウォッシュ仕上げ」商品の2種類を展開しています。

当社の製品加工素材“ガメダイ®”は、独自の染色技術と高圧染色機を用いた高品質な加工技術を用いています。

通常の製品洗いでは表現できない洗いざらしたような味わいと風合いが叶えるヴィンテージ感をお楽しみいただけます。



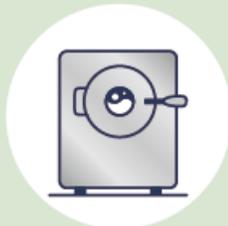
製品染め

komatsumateRe

店頭でお客様から回収した製品を
染め替えて販売



店頭でお客様から
製品を回収



当社で染め替え



製品染め製品の納品



お客様へ販売



「製品染め」の推進で、服の廃棄の削減、原料・資材の再利用などの環境配慮に貢献してまいります。

IV-4. 中期経営計画「従業員エンゲージメントの向上」

○ 東京営業所の移転

当社の東京営業所をファッショントレンドの中心地である東京・青山の「ポーラ青山ビルディング」へ移転いたしました。

近隣には昨年開設した当社「青山ショールーム」もあり、この2つ拠点の連携により、これまで以上にお客様の感覚に寄り添った企画・開発や、新たな販路開拓や業務にチャレンジしていける環境を整えております。



【CASBEE-評価認証の2部門でSランク、BELSで4つ星を取得】

「ポーラ青山ビルディング」は当社の推進する省エネ対策や環境負荷低減への取り組みに合致する、評価認証を得た建物となっております。

○ 本社食堂の改装

12月、当社の本社食堂を改装いたします。「従業員が集まる場所」をモットーに、自由に社内打合せや商談にも利用でき、一息つけるリラックスした空間を提供します。

引き続き、従業員の働くモチベーションの向上に向けて、福利厚生施設の改善を図ってまいります。



IV-5. 中期経営計画「作業環境改善の推進」



当社の作業環境改善の大きなテーマの1つである「工場再編」の第一歩として、この度、物流倉庫「小松マテール第二物流センター」を新設いたします。

この新設を機に、さらなる労働環境の改善やBCP対策、環境に配慮した事業運営を目指します。

「小松マテール第二物流センター」概要

住所：石川県能美市浜町

敷地面積：5,500m²

(内倉庫面積：3,300m²)

建設費：約5.5億円

完成時期：2025年7～8月(予定)

物流センター新設により期待される効果

①工場再編への第一歩

当センター新設を皮切りに、今後計画的に工場再編を進め業務効率化・DX化を図ります。

②BCP対策・環境に配慮した事業

太陽光パネルなどの再生エネルギー100%の運用となり、さらに非常用電源としての使用が可能となります。

加えて、関連会社の(株)インターリンク金沢と飲料水販売を協業することで、災害時には飲料水確保に貢献します。

③労働環境対応

新耐震基準をしており、荷物の保管や労働環境の安全を確保し、さらには、冷暖房や動線の改善、休憩スペース設置による作業環境を改善いたします。





質疑応答



ご清聴ありがとうございました。

本資料中の業績予想、見通しについての記載は、現時点における将来の事業環境・経済状況等の仮定・推測に基づいています。実際の業績は様々な要因の変化により、これと異なる結果となる可能性があることをご理解願います。